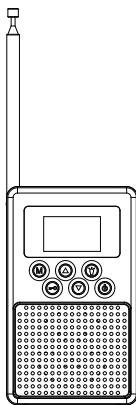


防災ラジオ

FC-W119RD

取扱説明書

保証書付



この度は弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。
この製品は、日本国内専用です。海外では使用できません。

目次

本製品について	3
緊急放送を受信した場合	3
必ずお読みください	4
安全についてのお願い・ご注意	4
免責事項	5
ご使用前に	6
同梱品の確認	6
充電池に関するご注意	7
充電池を入れる	8
充電する	9
各部の名称	10
基本設定（必ず行ってください）	11
1. 緊急警報放送、緊急地震速報の周波数設定	11
2. 同報系防災行政無線の周波数設定	14
3. 時刻の設定	15
確実に受信するために	17
使いこなし編	18
モードの切り換え方法	18
音量の設定	19
電池残量警告の対応方法	19
ノイズ音を消す方法	20
FM ラジオとして使う	21
防災行政無線として使う	22
防災行政無線周波数の変更	23
防災行政無線の受信音量を最大に設定	24
その他の便利な機能	25
非常灯として使う	25
非常用アラームとして使う	26
自動的に電源を切る	27
キーロック	27
操作音を消す	28
バッテリーセーブ機能	28
時計表示を消す	28
リセット - 設定を工場出荷時に戻す	29
故障かなと思ったら	29
主な仕様	30
保証規定 / 保証書	裏表紙

本製品について

本機は同報系防災行政無線（アナログ放送）の受信、NHK-FM ラジオ放送の緊急警報放送（第1種、第2種）および緊急地震速報の常時監視機能をもつ防災無線受信機です。これら災害情報のいずれかの警報を検出した場合、その緊急放送の受信を開始します。

- ・ 同報系防災行政無線の常時監視
- ・ 緊急地震速報（NHK-FM 放送で流れる“ジャラン ジャラン音” 受信にて自動で起動）
- ・ 緊急警報放送（第1種、第2種）対応（NHK-FM 放送で流れる“ピロピロ音” 受信にて自動で起動）
- ・ 緊急速報、警報信号の受信を LED と音で知らせます
- ・ リチウムイオン電池により停電時にも受信可能
- ・ LED ライトを搭載しており、緊急時に非常灯としても使用可能です（連続と点滅の点灯切替が容易です。P.25 参照）
- ・ サイレン（非常用大音量のアラーム音を鳴らし、同時にランプの点滅で周囲に非常事態を知らせます。P. 26 参照）
- ・ FM ラジオモード
- ・ 時計機能

緊急放送を受信した場合

本機が同報系防災行政無線、緊急警報放送、緊急地震速報などの緊急放送を受信した場合、白色 LED が点滅を開始すると共に、受信した緊急放送がスピーカーから出力されます。

ヒント！

同報系防災行政無線を受信した時は放送がなくなるまで受信が継続します。放送受信中にキー操作をすると音量の調整、周波数の変更等が可能です。緊急警報放送、緊急地震速報を受信したときは、3分間受信が継続した後受信をする前の状態に戻ります。3分以内にキーなどを操作すると、NHK-FM 放送を継続して聞くことができます。

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

表示について

本機を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ安全に使用していただくため、重要な内容を記載しています。

ご使用にあたり、次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。

 危険	人体が死亡もしくは重傷を負いかねない危険が明らかに生じることを想定される内容。
 警告	人体が死亡もしくは重傷を負いかねないことが生じることを想定される内容。
 注意	人体が障害を負いかねなく、物的障害の発生を想定される内容。



気をつけていただきたい内容です。



してはいけない内容です。



しなければならないことを表しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



危険



- ・付属の電池以外の電池は使用しないでください。発火・発熱・破損の原因となります。
- ・付属の充電器以外での充電は行わないでください。発火・発熱・破損の原因となります。



- ・充電は 5℃～40℃の範囲で行ってください。



- ・火中に投入、分解、改造、はんだ付けは行わないでください。



- ・電池が液漏れを起こしたときは、使用をやめてください。



- ・液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。



警告



- ・充電は AC100V 以外では行わないでください。
- ・濡れた手で AC アダプターに触れたり、電源コードに触れたりしないでください。
- ・直射日光を避け、風通しの良い状態でご使用ください。
- ⊘ 湿度の高い環境でのご使用はおやめください。
- ⊘ 機器を雨水などにさらされないようご注意ください。
- ❗ 落下などにより破損したり正しく動作していないときは、ご使用を控えてください。
- ❗ 使用中に煙が出た場合、すぐに使用をやめて電池を外し、お買い求めいただいた販売店または弊社までご連絡ください。



注意



- ❗ 緊急放送、同報無線を受信した場合、身の安全を確保し行動してください。
- ❗ 長時間使用しないときは、充電器、電池を外して保管してください。
- ・本機の汚れが酷いときは、水で薄めた中性洗剤をしみこませた柔らかい布で軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの薬品はご使用になれません。
- ⚠ 地震速報は震源地からの距離によっては、揺れが発生してから放送される場合があります。
- ・アンテナは先端が細くなっています。誤って目にさしたりしないように注意してください。
- ⊘ テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどの電子機器の近くで使用しないでください。
- ・車内のダッシュボードの上など、高温になる場所に置かないでください。

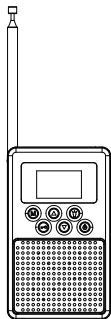
免責事項

- ・本機は同報系防災行政無線、緊急地震速報、緊急警報放送を受信して、それを知らせるものであり、地震や災害の被害等を回避、軽減するものではありません。
- ・本機の不具合や故障、または誤った設置や操作等によって万が一、同報系防災行政無線、緊急地震速報、緊急警報放送の受信や警告機能が動作できなくなった場合、地震等の災害などにより生じた被害や損害に対して保証するものではありません。

ご使用の前に

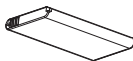
同梱品の確認

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



本体 (1 台)

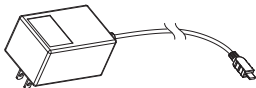
リチウムイオン充電電池
(1 台)



イヤホン (1 個)



AC アダプタ (1 個)



取扱説明書 (1 冊)
保証書付

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

充電機に関するご注意

電池は使い方を誤ると破裂や発熱、液漏れの原因となります。

次の注意事項を必ずお守りください。

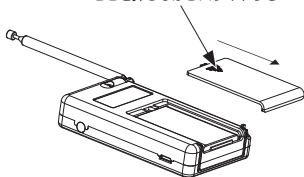
- ・ 付属の AC アダプタ以外での充電はしないでください。故障の原因となる場合があります。
- ・ 火の中に投げ込まないでください。
- ・ ショート（短絡）、分解、過熱をしないでください。
- ・ 短時間でも使用しないときは、電池パックを本機から取り出してください。
- ・ 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、電池パックの寿命です。新しい電池パックと交換することをおすすめします。
- ・ 不要になった充電機は貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。プラス端子、マイナス端子はテープ等で絶縁してください。

ご使用の前に

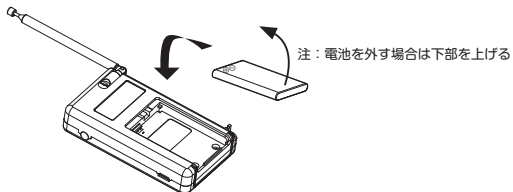
充電機を入れる

1. 電池カバーを取り外します

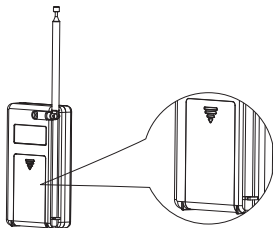
ここを押しながらスライドする



2. 電池の極性に注意して電池を挿入します

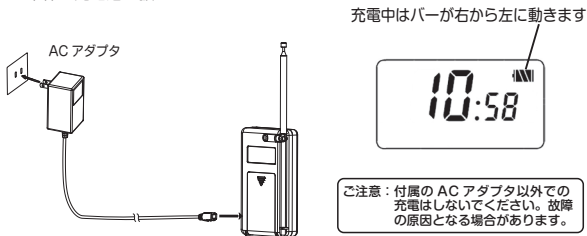


3. 電池カバーを取付けます



充電する

- ・初めて使用されるときや、長時間使用されなかった場合は充電をしてください。
- ・AC アダプタを AC コンセントに差し込んでください。
- ・本機に充電電池をセットした状態で AC アダプタの microUSB プラグを本体の充電端子に差し込んで充電をしてください。
- ・充電中は、電池残量表示が動きます。(満充電になると止まります)
- ・長時間充電しない場合は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。また、本体の充電電池も抜いてください。



使用時間のめやす（携帯運用時）：

種類	使用時間
監視モード（警報＋防災）	約25時間
監視モード（警報のみ）	約30時間

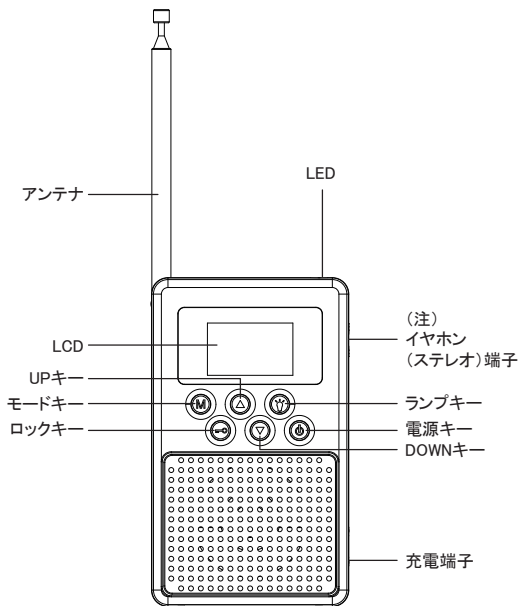
充電時間のめやす：

種類	充電時間
監視モード（警報のみ）	約5時間

（注）

- ・FMラジオモードや防災無線受信モードで運用の場合、同報系防災行政無線の監視を行わない場合運用時間や充電時間は変わります。
- ・使用時間は付属の電池を満充電した状態からの時間（目安）です。
- ・電池は消耗品です。充放電を繰り返すと運用時間は短くなります。

各部の名称



(注) 付属の専用イヤホンをご使用ください。モノラルイヤホンは使用できません。
ステレオイヤフォンを使用すると、片側のみ音声が出力されます。

● LCD(液晶ディスプレイ)



1. NHK-FM 局地域選択時
2. 緊急地震速報受信時
3. NHK-FM 設定時及び緊急警報放送受信時
4. 同報系防災行政無線設定及び受信時
5. FM ラジオモード
6. FM 局信号強度表示
7. キーロック機能表示
8. 電池残量表示
9. 周波数、時計、機能表示等

基本設定（必ず行ってください）

基本設定は、緊急警報放送、緊急地震速報と同報系防災行政無線を正しく受信するために、予め NHK-FM 局等の受信周波数と同報系防災行政無線の受信周波数を設定し、時刻の設定までを行います。

1. 緊急警報放送、緊急地震速報の周波数設定

お住まいの都道府県の NHK-FM 局をメモリーから選択できます。

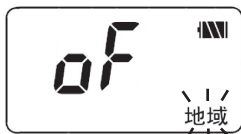
●緊急地震速報の受信に関して

本機は NHK-FM 局から放送される緊急地震速報を検出してラジオを起動する仕組みになっています。NHK-FM 放送は全国放送であるため、地域の設定に関係なく緊急地震速報を受信します。お住まいの地域の民放 FM 局が緊急地震速報に対応している場合、民放 FM 局の周波数を緊急地震速報監視用周波数として設定することもできます。

基本設定（必ず行ってください）

【設定手順】

- 1.Mode キー「M」を押しながら、電源キー「オレンジ色ボタン」を長押しして電源を入れる。



- 2.“地域” が点滅しているときに UP/DOWN キーでお住まいの地域番号を選択します。

地域一覧

番号	地域	番号	地域	番号	地域	番号	地域	番号	地域
01	北海道	11	埼玉県	21	岐阜県	31	鳥取県	41	佐賀県
02	青森県	12	千葉県	22	静岡県	32	島根県	42	長崎県
03	岩手県	13	東京都	23	愛知県	33	岡山県	43	熊本県
04	宮城県	14	神奈川県	24	三重県	34	広島県	44	大分県
05	秋田県	15	新潟県	25	滋賀県	35	山口県	45	宮崎県
06	山形県	16	山梨県	26	京都府	36	徳島県	46	鹿児島県
07	福島県	17	長野県	27	大阪府	37	香川県	47	沖縄県
08	茨城県	18	富山県	28	兵庫県	38	愛媛県		
09	栃木県	19	石川県	29	奈良県	39	高知県		
10	群馬県	20	福井県	30	和歌山県	40	福岡県		

- 3.Mode キー「M」を押すと、あらかじめ地域ごとに登録された NHK 周波数が表示されます。UP/DOWN キーでお住まいの周波数に合わせます。このとき“警報” が点滅します。



※ FM ラジオの電波は信号強度表示で確認できます。

ご注意

お住まいの周波数が登録されてない場合や良好に受信できる周波数があらかじめわかっている場合、または民放 FM 局に設定したい場合は、手順 1 からやり直し、地域 “oF” を選択し、「M」キーを押し周波数表示にして “UP/DOWN” キーで周波数を手動で合わせます。

※メモ：UP/DOWN キーを長押しすると周波数が早く変化します。

4.Mode キー「M」を押し、FM 周波数を決定します。

同報系防災行政無線の画面になります。このとき“防災”が点滅します。



基本設定（必ず行ってください）

2. 同報系防災行政無線の周波数設定

NHK-FM 局の周波数決定後、同報系防災行政無線の周波数設定をします。
あらかじめ、お住まいの地域で使用されている同報系防災無線の周波数をご確認ください。

同報系防災行政無線の周波数が登録されています（全 43 波）

1	68.205MHz	11	68.580MHz	21	68.880MHz	31	69.255MHz	41	69.735MHz
2	68.220MHz	12	68.595MHz	22	68.895MHz	32	69.405MHz	42	69.750MHz
3	68.280MHz	13	68.610MHz	23	69.090MHz	33	69.420MHz	43	69.765MHz
4	68.295MHz	14	68.680MHz	24	69.105MHz	34	69.435MHz		
5	68.415MHz	15	68.695MHz	25	69.120MHz	35	69.450MHz		
6	68.505MHz	16	68.805MHz	26	69.135MHz	36	69.465MHz		
7	68.520MHz	17	68.820MHz	27	69.150MHz	37	69.480MHz		
8	68.535MHz	18	68.835MHz	28	69.165MHz	38	69.495MHz		
9	68.550MHz	19	68.850MHz	29	69.180MHz	39	69.705MHz		
10	68.565MHz	20	68.865MHz	30	69.195MHz	40	69.720MHz		

【設定手順】

1. “防災” が点滅しているときに UP/DOWN キーでお住まいの地域で使用されている周波数を選択します。上記 43 波の登録周波数から選択します。

ご注意：お住まいの近くに登録周波数がない場合は “oF” を選択してください。

2. Mode キー「M」を押し、周波数を決定します。

時計表示画面になります。このとき “時間” が点滅します。



3. 時刻の設定

【設定手順】

1. “時間” が点滅しているときに UP/DOWN キーで時間を設定し、Mode キー「M」を押します。



2. “分” が点滅します。“分” が点滅しているときに UP/DOWN キーで分を設定し、Mode キー「M」を押します。



※時刻が設定され、設定した FM 周波数表示になります。



基本設定（必ず行ってください）

- 一度、正しく時刻設定した後、NHK-FM 局が良好に受信できれば、以降の時刻設定は自動的に行われます。（正午の時報受信時に誤差±5 分以内の場合）
- NHK-FM 局以外の民放 FM 局を設定した場合、時報を放送しないと、時刻合わせ機能が動作しなくなりますのでご了承ください。

設置する（待受け状態）

1. 基本設定が完了したら電源キーを長押しして電源を切ってください。電源を切った状態で「監視モード」に入り、同報系防災行政無線、緊急警報放送及び緊急地震速報の監視を常時行います。
2. この状態で AC アダプタをつないだまま、窓際など NHK 放送の受信状態が良い所に設置します。

緊急警報放送の試験信号受信時

NHK-FM 放送局では、毎月 1 日の正午前に緊急警報放送の試験電波が送信されています。本機が試験電波を正常に受信すると「 **5t** 5t



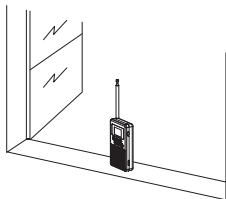
ご注意

- ・本機は、緊急警報放送の「試験電波」受信では、受信音声は聞こえません。
- ・本機は、緊急警報放送の「本放送電波」受信では、受信音声は聞こえます。

確実に受信するために

本機は電源の ON/OFF に関わらず、同報系防災行政無線、緊急警報放送および緊急地震速報の監視を常時していますので、これら緊急放送の監視中、電波が常に良好に受信していることをご確認ください。電波の受信状態が悪い場合、設置場所を変更して電波を良好に受信できるようにしてください。尚、同報系防災行政無線は不定期に送信されるため、同報系防災行政無線が受信できないときは、FM 局を聞きながら本機を FM 局が良好に受信できる場所に設置してください。

- ① 本機の設置場所は、FM ラジオや同報系防災行政無線が良好に受信できる場所に設置してください。
- ② ご家庭内に設置される場合、窓際の FM 電波が良好に受信できる場所に設置して下さい。
- ③ 窓のガラスは金属の網などが無い方が電波の減衰（弱くなる量）が少なくて好ましい。
- ④ 家の壁で、コンクリートや金属（鉄製・アルミ製）は電波が通過できないため、放送局と本機との間には、これらが無い位置に本機を設置してください。（放送局の送信所がある方向に障害物が少ない方が有利です。）



ご注意

- ・近くに電気機器や電子機器の配線などがある場合、電磁波の干渉により良好に受信できない場合があります。この時、配線の引き回し位置を変えるなど、変化をさせて受信が良好となる位置を探してください。
- ・充電用 AC アダプタや AC アダプタのケーブルの位置により受信に影響が出る場合は、設置位置をずらして FM ラジオや防災行政無線が良好に受信できる場所に設置してください。
- ・お手持ちの USB 電源をご使用になる場合、電源からのノイズで受信感が悪化する場合があります。
- ・イヤホンをご使用の場合、イヤホンケーブルの位置により受信感が悪化することがあります。
- ・アンテナは全部を引き出し、伸ばしてご使用ください。

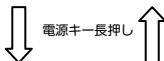
モードの切り換え方法

1. 電源の ON/OFF、FM 放送の受信、同報系防災行政無線の周波数確認などの設定を切り換える方法です。
2. 本機は電源が入っていない時は、緊急放送を受信するための「監視モード」で動作しています。これは本体の電源が切れていても、NHK-FM 放送での緊急警報放送、緊急地震速報や地方自治体による同報系防災行政無線は放送されますと自動的に本体の電源が入り、放送が聞こえます。
3. 電源を入れると、FM ラジオまたは同報系防災行政無線の受信機として使用することができます。
4. 「監視モード」、「FM ラジオモード」、「同報系防災無線受信モード」を任意で切り換える方法を下の図で表します。

電源オフ時（監視モード/時計表示）



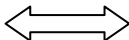
電源オン時



FMラジオモード



防災無線受信モード



Modeキー長押し

音量の設定

電源が入っている時（FM ラジオモードまたは防災無線受信モード）に、聴きやすいよう適切な音量に設定できます。

- 1.UP/DOWN キーを押すと“LE”と現在の音量レベルが表示されます。
（01 ～ 09 まで変化します）



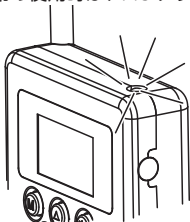
2. 音量レベルが点滅している間に UP/DOWN キーで音量を設定して
ロックキーを押します。

電池残量警告の対応方法

充電池で運用時、電池残量が低下すると残量警告のピープが一定時間毎に鳴り、LED が点滅を開始します。

電池残量警告が鳴り出し、LED が点滅を開始したら、速やかに充電をしてください。

通常の使用時は、AC アダプタを接続したままでご使用ください。



ノイズ音を消す方法

「監視モード」の状態ですピーカーより「ザーッ」という音が出る場合があります。この原因は、同報系防災行政無線の受信機に不要なノイズ信号が入った時に「ザーッ」音が出ます。従いまして、この受信機にノイズ信号が入らないようすることで、防ぐことができます。下記に雑音が出ないようにする方法例を記述いたします。

ノイズ発生源から遠ざけた位置にする

- ①不要なノイズは、通常は電子機器などから発生しておりますので、本機を設置する場所はできるだけ電子機器から離れた場所に設置してください。
- ②これらの電子機器への電源コードなどからも、遠ざけた場所に設置してください。
- ③ノイズ発生源となる電子機器の例：
(1) テレビ (2) パソコン (3) 電子レンジ (4) LED 蛍光灯 (5) 電気炊飯器
(6) ゲーム機 (7) 充電中の携帯電話 (8) 電子機器の AC アダプタ
- ④この状態で、しばらく放置して「ザーッ音」が出なくなることを確認してください。

アンテナの形を変えてみる

ノイズ発生源となる電子機器からの信号を弱くするための手段です。

- ①アンテナの長さを縮めてみる。
- ②アンテナを後側や左側へ傾けて、方向を変えてみる。

FM ラジオとして使う

1. 電源を入れる

電源キーを長押しすると電源が入ります。



2. モードを FM ラジオモードにする

FM ラジオモードは FM 周波数が表示され、**FM** アイコンが点灯します。



防災行政無線受信モードになっているときは Mode キーを長押しすると FM ラジオモードに切り替わります。



使いこなし編

3. 周波数を合わせる

Mode キーを押して周波数が点滅している間に UP/DOWN キーを押して聞きたいFM ラジオ局に合わせる。ロックキーを押す。

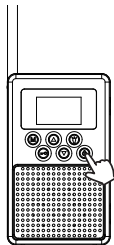
長押しするとFM ラジオ局をサーチします。

FM ラジオを受信中でも、同報系防災行政無線、緊急警報放送、緊急地震速報の監視をしていますので、これらの放送を受信した場合、自動的に切り替わります。

防災行政無線機として使う

1. 電源を入れる

電源キーを長押しすると電源が入ります。



2. モードを防災行政無線受信モードにする

防災行政無線の受信周波数が表示され、“防災”アイコンが点灯します。

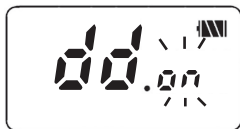
防災行政無線を受信中でも、NHK-FM 局の緊急警報放送及び緊急地震速報の監視をしていますので、これらの放送を受信した場合、自動的に切り替わります。



防災行政無線周波数の変更

防災行政無線の監視モードの登録周波数は基本設定で行えますが、防災無線受信モードでも変更できます。

- 1.Mode キーを押して周波数が点滅している間に UP/DOWN キーを押して登録周波数を変更する。ロックキーを押す。
- 2.Mode キーを押して “dd” を表示します。
- 3.UP/DOWN キーで “on” を選択し、ロックキーを押す。



ご注意：周波数を変更しても、監視用周波数を変更したくない場合は “dd of” にしてください。

防災行政無線の受信音量を最大に設定

防災行政無線を受信した時に受信を知らせるために最大音量で鳴らすことができます。

- 1.Mode キーを押して“dS”を表示します。
- 2.UP/DOWN キーで“dS on”を選択してロックキーを押す。



音量の設定（P.19）にかかわらず、最大音量で鳴ります。

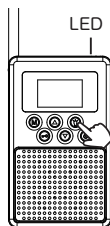
その他の便利な機能

非常灯として使う

本体上部に搭載している高輝度 LED を使用して、非常時の一時的なライトとして、または非常用点滅ライトとして使用することができます。本体電源の ON/OFF にかかわらず操作できます。

1. 非常用点滅ライト

ランプキーを 2 秒間押し続けると、本体上部の LED が点滅を開始します。



2. 非常用 LED ライト

LED が点滅状態の時にランプキーを押すと、LED が点灯に変わります。

3. 消灯

LED が点灯状態の時にランプキーを押すと、LED が消灯します。

その他の便利な機能

非常用アラームとして使う

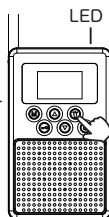
非常用の大音量アラームで周りに非常事態であることを知らせることができます。本体電源の ON/OFF にかかわらず操作できます。

1. 非常用アラーム開始

ランプキーを 3 秒以上押し続けると、スピーカーから大音量のアラーム音が鳴り出すと同時に LED が点滅を開始します。

2. 非常用アラームを止める

アラームが鳴っている時にランプキーを押すと、アラーム音が鳴り止み LED が点灯します。



3. 消灯

LED が点灯状態の時にランプキーを押すと、LED が消灯します。

※非常用アラームを無効にすることができます。

Mode キーを押して“AL”を表示させ、UP/DOWN キーで“oF”を選択してロックキーを押すと無効になります。



自動的に電源を切る

設定した時間になると自動的に電源が切れます。

1. Mode キーを押して“AP”を表示します。

2. UP/DOWN キーで時間を設定
します。(01 ~ 05)



3. ロックキーを押して確定する。

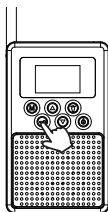
※設定された時間(1 ~ 5 時間)が経過すると電源が切れて監視モードへ自動的に移行します。

キーロック

誤操作によって設定が変更されたりしないようにします。

1. ロックキーを 2 秒以上押します。

2. キーロックが有効になるとキーロック表示が点灯し、電源キー、ロックキー、ランプキー以外の操作が無効になります。キーロックは電源を切っても次に電源を入れた時にキーロック状態を保持します。



3. キーロック状態で再度ロックキーを 2 秒以上
押すと、キーロックが解除されます。



その他の便利な機能

操作音を消す

- 1.Mode キーを押して“bP”を表示します。
- 2.UP/DOWN キーで“oF”を選択し、ロックキーを押す。



バッテリーセーブ機能

電池運用の場合、使用時間を伸ばすためにバッテリーセーブ機能を設定できます。

- 1.Mode キーを押して“bS”を表示します。
- 2.UP/DOWN キーで“bS on”を選択し、ロックキーを押す。



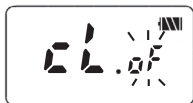
ご注意

- ・バッテリーセーブが ON の時は同報系防災行政無線の監視を間欠動作（約 5 秒毎）にしていますので、同報系防災行政無線の受信の立ち上がりが遅れる場合があります。
- ・FM ラジオを聞いている時に約 5 秒おきにノイズが入る場合、バッテリーセーブ機能は“oF”にしてください。

時計表示を消す

監視モードで時計表示を消すことができます。

- 1.Mode キーを押して“cL”を表示します。
- 2.UP/DOWN キーで“cL oF”を選択し、
ロックキーを押す。



リセット - 設定を工場出荷状態に戻す

設定がわからなくなったり、動作が不安定になった場合、初期状態に戻します。

1. 一旦電源を切る。電源キーを長押しする。
2. ロックキーを押しながら電源キーを長押しする。
3. UP/DOWN キーで“dF on”を選択し Mode キーを押す。



ご注意

リセットを実行した場合、時刻以外は初期状態に戻ります。使用するには基本設定からやり直してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の「症状による項目確認」を点検してください。それでも回復しない場合や動作がおかしい場合、キーを押しても反応しない場合は電池を入れ直してみてください。

症状による確認項目

症状	原因	処置
電源が入らない	・電池が消耗している	・充電をして下さい
電源が切れる	・電池が消耗している ・オートパワーオフが設定されている	・充電をして下さい ・オートパワーオフの設定を確認して下さい
受信しない 音がでない	・放送局の周波数が間違っている ・電池が消耗している	・正しく放送局を設定して下さい ・充電をして下さい
キーを押しても反応しない	・キーロックになっている ・キー操作音がオフになっている	・キーロックを解除して下さい ・キー操作音の設定を確認して下さい

主な仕様

周波数帯：

防災同報無線

68.205 ~ 69.795 MHz (15 kHz step)

FM ラジオ

76.0 ~ 95MHz (100kHz Step)

防災信号検出方式：

防災同報無線

指定周波数のキャリア検出

緊急地震速報

NHK 地震速報チャイム音検出

緊急警報放送

ARIB 標準規格 BTA R-001 FSK 検出

電源電圧：

DC IN 運用時

DC 5V (microUSB)

本体電池運用

DC 3.7V

温度範囲

0℃ ~ +50℃

消費電流：

監視モード (電源 OFF 状態)

30mA (同報無線 Save 時)

FM ラジオモード

100mA

防災同報無線モード (待機時)

60mA

オーディオ最大出力

300mW

寸法：

(突起物含まず)

幅 60 × 高さ 100 × 奥行き 19.5 mm

本体重量：

約 86 g (電池含まず)

保証規定（本体のみ、付属電池パック等は除く）

本取扱説明書の最終ページに保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、販売店名」などを記入、ご確認の上、販売店より受け取ってください。

- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。（電池パック、イヤホン等の消耗品に関しては初期不良のみ交換対応：使用開始後10日間）
- 修理を依頼される前に、「故障かな？と思ったら」（P29）を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、下記販売元にご連絡ください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが消去される場合があります。
- 本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 正常な使用で故障した場合、保証書をご提示いただき、保証期間内であれば修理にて対応させていただきます。その際、製品を販売店にお持ち込みいただくか弊社宛に送付していただくセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。
- 保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有料にて修理致します。お買い求めの販売店または弊社サービス課にご相談ください。

無料保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書、添付ラベル等の注意書きに従って正常に使用し故障した場合、無償修理させていただきます。
2. 次の場合には、保証期間でも有料修理となります。
 - (イ) 保証書の提示がない場合。もしくは、お客様、販売店名、お買い上げ年月日の記入がない、もしくは字句を書き換えた場合。
 - (ロ) 使用上の誤りや、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因で生じた故障及び損害。
 - (ハ) 故障の原因が本機以外の製品にある場合。
 - (ニ) 落下、冠水などによる故障及び損害。
 - (ホ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障及び損害。
 - (ヘ) 製造番号の改変もしくは取り外した製品。
 - (ト) 消耗部品（電池等）

保証は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

* この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売元までお問い合わせください。

株式会社エフ・アール・シー サービス課

TEL: 042-793-7746 (10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00、土日祝日及び弊社休業日を除く)

URL: <https://www.frc-net.co.jp/>



保証書 持込修理

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無償修理させていただきます。

- 修理は本保証書を提示し、お買い求めの販売店または、弊社にお問い合わせください。
- 本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印のないものは無効です。必ず記入事項の確認をしてください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本製品は、持込修理とさせていただきます。尚、電池パック、イヤホン等の消耗品に関しては初期不良のみ交換対応：使用開始後 10 日間（正常な状態での使用中に製造上の不備に起因する故障が発生した場合）

お客様へのお願い

お手数ですがご住所、お名前、電話番号をご記入ください。

ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、本保証書をお客様にお渡しください。

商品名	防災ラジオ FC-W119RD		
保証期間	1年間（消耗品除く）	ご購入年月日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL		
販売店	お名前		
	住所		
	店名		



F.R.C. co.,LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8

URL <https://www.frc-net.co.jp>



4-1-R-CF-01